

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間の持つ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なことでお悩みの方もぜひ御一読ください。

# 健康新聞

発行所 新健康協会  
発行人

〒813-0001  
福岡市東区唐原6-7-1  
TEL:092-661-1531  
https://shinkenko.jp



次の御論文は、明主様(当協会の教祖)が、昭和二十七年に発表されたものであります。世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

## 医学と浄霊

本教が在来の宗教とは、根本的に違う事を常に私は筆で書き、口で解説しているのです。信者としてもその意味を、絶えず世間へ宣伝しているであろうが、何しろ世の中は広いから一般に知れ渡るのは容易な事ではない。しかも知識人に至っては、殊に信じようとしにくい。彼等は宗教とさえいえば、十把一柵に見る癖があり、本教を目する場合も、右の觀念が邪魔をして、真相など分かるはずはないのである。ではどの点が違っているかと言うと、世間でも知っている通り、本教が最も力を入れているのが病氣治しである。これに対し一般はどういう解釈をしているかと言うと、こうであろう。どうせ信仰的に治すのだから、まず病人に向かつて暗示を与える。あなたの病氣は医者や薬では治らない。神様にお願いすればきつと治る。もともと病氣は罪穢の為であるから、私はあなたに代って神様にお詫びしてあげるから、大丈夫ですと言われるので、迷える小羊は丸のみにして有難がり信じてしまう。という精神作用の働きによって治るのだから、或種の病氣に限る。例えば精神的疾患である神経衰弱とか、又は外部的疾患である神経痛、リユーマチスの如きものや、

首肩の凝り等、丁度マッサージか按摩療法的に思っている。だから肺、心臓、胃腸病の如き、内臓の病氣は駄目だから、こういう本格的病氣は、進歩した現代医学に頼るより外ないとしている。まずこれが一般人の考え方であろう。ところが、吾々からみるとこれが大変な誤りで、むしろ反対である。それを詳しく書いてみるが、本教の治病方法は勿論浄霊であるが、これは患者の身体には全然触れず、数尺離れたただ掌を翳すだけなので、これを見たら誰もは、あんな事で病氣が治つて堪るものか、人を馬鹿にするにも程がある。全く迷信に違いないと決めてしまふのである。ところがこれで重難病がドシドシ治るのだから、実に摩訶不思議だ。事実治病効果は医学の一に對し、浄霊の方は百といつても過言ではあるまい。しかも医学の方はヤレ外科とか、内科、脳神経科、婦人科、小児科等々、それぞれ専門に分かれているに反し、吾々の方は精神的疾患でも、機質的疾患でも、病氣と名のつく病氣は、ことごとく浄霊一本で治してしまう。そうして今日一般の人は、病氣に罹るや信者は別だが、始めから吾々の方へ来る者は一人もあるまい。まずお医者に行くのが常識である。ところが少し拗れるとなかなか思うように治らないので、医者を取り替えたり、博士や大病院へ行ったりする。それでも治らない結果、迷いに迷って民間療法や在来の神信心と来るのが御定法である。それでも治らないばかりか、段々悪くなる一方なので、どうしていいか分からなくなり、文字通り進退きわまつてしまふ。その結果藁でも掴みたい心境になった時、たまたま本教の話を聞くが、今までいろいろな信仰に

懲りているし、おまけに新聞雑誌などのデマや、インチキ宗教に引つ掛かるな、などの注意が頭にコビリついているので、一時は躊躇するが、熱心な勧めと堪えられぬ病苦とで意を決し、ともかく試してみようと思ひ、疑い疑い来る人がほとんどである。そこでいよいよ来て見ると、これはこれは、なるほど看板は何々支部、何々出張所などと大きな名前が出ているが、家はとみれば精々サラリーマン程度の、ちよつとした住宅なのでガツカリする。といつてせつかく訪ねて来て帰るのも残念だと、思い切つて小さな門から格子戸を潜ると、これはまた二度ガツカリ、精々二間か三間位の古ぼけた部屋で、先生はと見れば玄関子兼帯と来ている。そこでお指図通り煎餅布団へ座り、ここでヤット先生のお顔を拝見に及ぶと、これまた風采のあがらぬ事おびただしい。何しろサラリーマン、小商人、農民や職工あがり等の人が多いので、その言葉も知識人らしくらず、その上今まで聞いた事もないような突飛な事をいう。薬は毒だ、医者が病氣を作るなどの御託宣と来るので、嘩然としてしまい、何が何だか分からなくなる。そこでいよいよ御浄霊となると、先生は器械らしいものは何にも用いず、ただ空間に手を翳すだけである。(2面につづく)

### 浄霊体験記

2ページ  
3ページ

- 奇跡が起きる! 待望の妊娠...
- 浄霊を受けた夜食欲が湧いた...
- 一枚の健康新聞が幸せへと導いた...

これを見た患者は何しろ子供の時から病気は薬と器械で治すものと教育されており、空間は空気だけで、何も無いと思っているから、空中へ掌が浮んだだけで、相手の難病が治るなどはあまりに超科学で、まるで狐につままれたようだ、という訳で精神的影響など薬にたくも無い。むしろ逆に疑いが増すばかりである。それに引き換え医学の方はどうであろうかを書いてみるが――

何しろ先進文明国始め、日本においても国家的に医学を援助奨励し、大学教育までが医学を重要視しており、全世界の科学者は何百年も前から専心、研究に研究を尽している結果、ますます微に入り細にわたって進歩し、発達して来たのであるから、人間は病気は医者と薬よりほか治るものはないと信じきっている。としたら精神的にいつても、百パーセント医学の方が有利であり、しかも大病院などの、アノ大ビルかホテルのごとき豪壮建築、内部の完備せる施設、専門専門の有名な博士の名を連ねた看板、これが待合室の壁に御神体の如く輝いており、白衣の天使は忙しそうに、街路の如き長廊下を右往左往している。これを見ただけではどんな人でも度胆を抜かれ、なるほど医学は進歩したもんだ、これではどんな病気でも治らない事はないと、肚の底から感嘆し、信じてしまうのである。

以上は医学の素晴らしさと、吾々の方の貧弱さを比べてみたのである。ところがどうだ、その治病効果たるや、最初にも書いた通り全然逆であるのは、医学で見離れた病人がドシドシ治ってゆく、全く二十世紀の奇跡と言うよりほか言葉はない。としたらここで考えなくてはならない事は、もし医学で病気が真に治るとしたら、それで済んでしまうから、科学性もない不安な民間療法や信仰療法などに、大切な生命を委せる馬鹿はないはずである。にもかかわらず、事実は医学以外の療法が相変わらず繁盛している。特に本教の如きは浄霊の効果と、すべてが正確なので、心底から信じて安心し、医薬から離れてしまう人は、日に月に激増しつつあるのである。としたら医師諸君も、大いに考えざるを得ないであろう。そうしてこの文の要点である信仰療法は、精神的影響などは、全然ないという一事を知らせたいのである。

浄霊によって病苦から救われると共に運命が向上し、幸せになられた方々の体験手記でございます。

妊娠・心臓弁膜症

奇跡が起きる！  
待望の妊娠…

佐々支部  
林エイ子（82）



私が新健康協会を知ったのは、義母がきっかけでした。

義母は、昭和四十年頃、六十歳位の時に胃の具合が悪くなり、病院に行き検査をしましたが、入院を繰り返すばかりで、なかなか良くなり、元気がない日々を過ごしていたそうです。そんな時、義母の姪であった福田さん（会員）から「病院でなかなか良くなるなら、一度浄霊を受けてみたら」と浄霊を勧められました。義母は、今の状態が良くなるのであれば…と、とりあえず浄霊を試してみることになりました。

すると浄霊を続けていく内にその変化が著しく現れ、日に日に元気になっていきました。毎日に気分が良くなっていきましたので、義母も「浄霊は素晴らしい」と心から感動し、入会しました。

三人の子どもに恵まれた…

これは昭和四十一年、私が二十四歳の時の出来事です。私は子どもが来ず悩んでいました。子どもを授かりたい…という気持ちとは反対に、なかなか妊娠出来ない状態が続いていました。そのことを知った義母は「あなたも浄霊を受けてみたら良いよ」と勧めてくれました。

この時、私は「浄霊」という言葉を一度見たことがあるな…と思い出しました。以前、近所の八百屋に行った時、包み紙として使用されていたのが「健康新聞」で、そこには浄霊の体験談が書いてあり、浄霊とはどんなものだろう…これで良くなるのかな…と疑問と興味を持ったことがあります。

私は子どもを授かりたい一心で、浄霊を受け始めることにしました。浄霊を受けていると体の調子も良かったので続けていき、それから六年後の昭和四十七年四月五日、三十歳で入会しました。するとその二年後、奇跡が起きました。なんと妊娠出来たのです。諦めかけていた気持ちもありましたので本当に嬉しく、待ち続けた子どもを頂ける…その喜びは言葉では言い表せないほどでした。そして昭和五十年、三十三歳で第一子となる長女を無事出産しました。

するとその二年後の昭和五十二年には第二子となる長男、さらに翌年の昭和

五十三年には第三子となる次女を出産しました。結婚して九年間…妊娠も出来ず悩んでいたのが嘘のように無事三人の子どもに恵まれました。明主様に心から感謝申し上げます。



これは長男の話ですが、長男は生まれた時から体が弱く、病院で調べますと「心臓弁膜症」との診断を受けました。また、医師から「今はまだ赤ちゃんなので様子を見ますが、小学校に入學する時には手術をしないとイケない…」と言われました。私はどうしたらいいだろう…と悩んでいたら、この話を聞いた福田さんが産院にかけつけ、長男を浄霊してくれました。すると最初は血の巡りが悪いのか、顔色もあまり良くなかったのですが、浄霊を続ける内に顔色も良くなっていき、産院を退院する頃には元気になっていました。

その後も毎日浄霊を受けていましたので、何の支障もなく、すくすくと元気に育っていきました。そしてそれから六年後の小学校入學前に行われた入學前検診を受けますと、なんと「異常なし」との診断でした。心臓弁膜症で手術も必要と言われた長男でしたが、成長に何の支障もなかった上に、異常なしとの診断まで受け、心から感謝するばかりでした。

「浄霊は素晴らしい…」と義母が言っていた通り、本当に素晴らしい御力で家族皆幸せに過ごしています。

今では長男も社会人となり、結婚もして元気になっています。また、私自身も浄霊により日々元気に過ごすことが出来、今年で八十二歳になりました。これからもこの素晴らしい浄霊を一人でも多くの方にお伝えしていきたいです。有難うございました。

（長崎県北松浦郡）

自律神経失調症

浄霊を受けた夜  
食欲が湧いた：

熊本支部  
大津誠 (59)



れた健康新聞のことを思い出し、支部に行ってみよう。母は駄目で元々：という気持ちで、疑いながら浄霊を始めました。本当に良くなるのかな：という気持ちで浄霊を試したのですが、初めて浄霊を受けた夜、今までなかった食欲が湧いたそうです。今から毎日浄霊を受けるようになり、そして薄紙を剥がすようにゆつくりと時間をかけて良くなっていきました。私はその時のことを鮮明に覚えていて、ほとんど寝たきりだった母が、浄霊に行った日から徐々に快復していったのです。完全に良くなり、元気になった母は、浄霊を知ってから二年後の昭和五十年十月十日、三十五歳で入会しました。

母の様子を見ていた私たち家族は皆支部に行くようになり、父も二年後の昭和五十二年に入会しました。私も浄霊を受けるようになってから徐々に元気になる体力が湧いてきました。浄霊を受けていると風邪を引いても浄霊で元気になるという安心感が大きく、学校で鼻血が出ることはありませんが、心配することもありませんでした。むしろ鼻血によって体の中の不要物が出たのか、頭がすっきりと湧いてきました。

しこり…完全に良くなる

私が小学四年生の時、急にあごの下に直径二〜三センチのしこりが出来たことがありました。痛みはなかったのですが、あごの下にあつたので早くとりたいたいな：と思っていました。しかし病院に行つて手術：となつても怖いと

思い、浄霊を続けました。すると三カ月間でしこりがなくなり、完全に良くなりました。跡も残らずきれいに良くなりましたので、私は「浄霊ですごくいい」と感動し、このことをきっかけに、昭和五十二年十二月二十六日、十一歳で入会しました。

母がきっかけで私まで浄霊を受けることが出来、病気やケガ等あつても、その度に救われてきました。今年の六月には、喉の痛みで呼吸しづらく眠れない日があつたのですが、浄霊を受けることで短時間で元気になるようになりました。声も出せない状態だったので、すぐに快復出来ました。心から感謝するばかりです。おかげ様で現在も元気に過ごすことが出来ています。誠にありがとうございます。(熊本県熊本市)

膀胱炎：遊走腎

一枚の健康新聞が  
幸せへと導いた：

西条支部  
井上百合子 (65)



私は、昭和五十八年、二十四歳の頃から、体の調子が少し変だな：と感じ

始めていましたが、はっきりした症状も説明しにくかつたので、一年余りは病院にも行きませんでした。

ところが、だんだんと朝起きた時に目が開きにくくなり、ものもらいがよく出て、なかなか治らないので眼科へ行つて、三回膿を出してもらいました。

また、何度もトイレに行きたくなつても、お小水はわずかしが出ず、下腹が痛かったり張つたりして不快感がありましたので、病院へ行つて診てもらつたところ、「膀胱炎です：」と言われて注射を打たれ、薬をもらいました。

膀胱炎だつたらすぐ治るだろう：と簡単に思っていました。三回通院しても全く変化がないので、病院を変えて診てもらいましたところ同じように言われました。その後も治療を続けましたが、病院へ行く前より悪くなつていたので私は恐くなりました。腰は重苦しく、夕方になるにつれて背中から肩が苦しくてたまりませんでした。

再び、病院をかえて診てもらいましたところ、「遊走腎：」とのことでした。病院の先生から「様子を見えますか：」と言われた時には、治らないのか：と絶望的な気持ちでした。病院の帰りに本屋さんに寄り、医学書を調べてみると、「膀胱炎のような症状が出たり、ひどくなると手術して腎臓を固定しなければならぬ」と書いてあり、これから先どうなるのだろうか：と、とても不安になっていきました。

そんな状態の昭和六十二年四月、郵便受けに一枚の健康新聞が入っていました。何気なく読んで、信じられない気持ちでしたが、すぐ近くに支部がありましたので行つてみることにしました。支部で浄霊を受けながら、こんなことで治るのかどうか信じられないまま、毎日のように浄霊を受けに行きました。

浄 霊

浄霊は、大自然のエネルギーであり、病気やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。

浄霊によって魂は清浄化され、肉体が健康になっていきます。

まずは試されてみてはいかがでしょうか。

(愛媛県西条市)

# 美の世界

美によって人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにする事ができます。

## 「絵唐津薄文皿」

### 椎の峯窯 十七世紀

ざっくりとした土味の風合いを感じる唐津焼。一五八〇年代、松浦党を代表する一族である波多氏が朝鮮半島から陶工を連れて、その居城、岸岳城下の山麓で陶器の生産を行ったことが始まりとされています。その後波多氏は失脚してしまいましたが、唐津焼は豊臣秀吉による朝鮮出兵の際に連れ帰った朝鮮陶工の技術が取り入れられ、より広い地域でつくられるようになってさらに盛んになりました。そうした草創期から十七世紀の初めあたりまでの唐津焼を古唐津と呼ぶこともありま

す。慶長はじめには、福本弥作、中里太郎右衛門(又七)、大島彦右衛門らが開窯、慶長十(一六〇五)年頃に今の伊万里市大川町川原に移っていました。初代藩主寺沢広高が治める唐津藩は元和元(一六一五)年、彼ら藩内の陶工を伊万里市南波多府招の椎の峯山に集めました。本作はその椎の峯窯でつくられた初期の皿で、中里家で言えば二代が活躍した頃のものです。端の部分の立ち上がりがあることによって、やや深さのある小皿ですが、縁も丸く、柔らかに歪んだ形が不思議と優美な印象を与えています。高台以外には長石釉が施され、施釉された部分と素地の境界も揺らぎを感じさせる曲線が生まれており、鉄砂で描かれた薄の文様もまた、風にそよぐ姿が器のカーブに呼応しているかのようです。古

唐津の文様には抽象的なものも含めてさまざまなものがありますが、自然物のなかでも身近にあるような野草をもとにしたものがとても多く、図柄としてはすっきりと簡明で、のびやかな筆致は大膽にすら思えるほどです。

宝永四(一七〇七)年、四代目の中里と大島は唐津市坊主町に御用窯を、享保十九(二七三四)年には藩命により五代中里が唐人町に移って御茶屋窯を開き、明治四(一八七二)年の廃藩置県まで勤めました。その後中里太郎右衛門窯は民窯となりませんが、茶陶として珍重されてきた、素朴であり豪快、そして気品を備えた唐津焼が現在、骨董としてだけでなく根付いているのは、十二代が伝統技法の復活を果たしたからだと言えます。つまり、中里家で所蔵されているこの作品は、唐津焼のルーツと中里太郎右衛門のルーツの交点にあるように思われるのです。

解説 松田愛子



### 中里太郎右衛門大展覧会開催

「古唐津」とよばれる十六世紀の古陶に始まる唐津焼。豊臣秀吉の文禄・慶長の役によって、大陸よりもたらされた技術と文化がいち早く花開いた地、唐津。そのとき以来、連続と朝鮮陶工の技術を今に受け継ぎ、さらにそれを発展させて現代の生活に合った作品づくりを続けてきた中里太郎右衛門家。

本展では古唐津や、藩により厳しく統制され、門外不出の技法で作られた幻の唐津焼「献上唐津」に加え、中里家五代直筆の古文書、また十二代太郎右衛門中里無庵と交友関係のあった陶芸家の荒川豊蔵、日本画家の伊東深水、洋画家の中川一政らの書簡など、中里家秘蔵のコレクションを展示致します。

国内窯業史に大きな革新をもたらした唐津焼。その唐津の地に生きた朝鮮陶工たちの知られざる記録。中里太郎右衛門家約四百三十年の歴史を辿る展覧会となります。

唐津焼四百年の歴史が今、紐解かれる――

# 中里太郎右衛門大展覧会

中里太郎右衛門氏による  
ギャラリートーク  
●9月15日(日)  
午後2時より40分間

**〔特別展〕**

令和6年  
6/18日(火)～9/16日(月)  
新健康協会 晴明会館  
10:00～17:00 (最終入館 16:30)  
休館日 第一、第二日曜日、月曜日(祝祭日の時は翌日)  
入館料 一般1,000円、高大生800円、中学生以下無料

主催/新健康協会  
協賛/ 福博総合印刷株式会社 株式会社 プリスにしやま  
株式会社 永瀬建設 株式会社 永島建設  
株式会社 大野門ビル 株式会社 富士丸商運  
GALLERY 一番館 株式会社 富士丸商運  
協力/ 中里太郎右衛門陶房



お問い合わせは晴明会館まで  
電話: (092) 661-1535

場所: 新健康協会 晴明会館  
会期: 令和6年6月18日～9月16日  
時間: 10時～17時  
(最終入館16時30分)  
休館日: 第1、第2日曜日、  
月曜日(祝祭日の時は翌日)